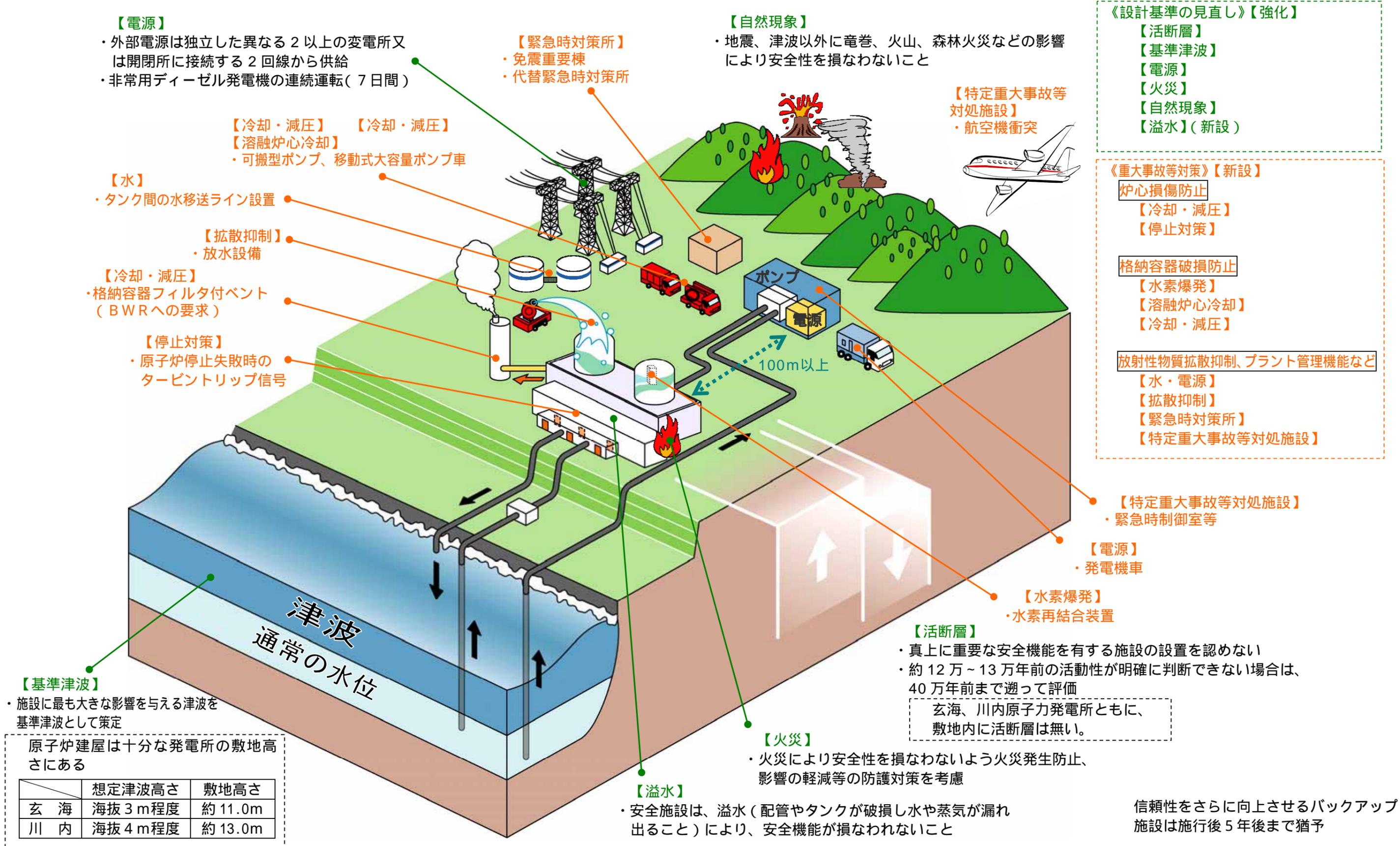


新しい規制基準で求められた主な対策（イメージ）



【電源】

- 外部電源は独立した異なる2以上の変電所又は開閉所に接続する2回線から供給
- 非常用ディーゼル発電機の連続運転(7日間)

- 【冷却・減圧】
- 【冷却・減圧】
- 【溶融炉心冷却】
- 可搬型ポンプ、移動式大容量ポンプ車

【水】

- タンク間の水移送ライン設置

- 【拡散抑制】
- 放水設備

【冷却・減圧】

- 格納容器フィルタ付ベント(BWRへの要求)

【停止対策】

- 原子炉停止失敗時のタービントリップ信号

【緊急時対策所】

- 免震重要棟
- 代替緊急時対策所

【自然現象】

- 地震、津波以外に竜巻、火山、森林火災などの影響により安全性を損なわないこと

【特定重大事故等対処施設】

- 航空機衝突

《設計基準の見直し》【強化】

- 【活断層】
- 【基準津波】
- 【電源】
- 【火災】
- 【自然現象】
- 【溢水】(新設)

《重大事故等対策》【新設】

- 炉心損傷防止
- 【冷却・減圧】
- 【停止対策】

格納容器破損防止

- 【水素爆発】
- 【溶融炉心冷却】
- 【冷却・減圧】

放射性物質拡散抑制、プラント管理機能など

- 【水・電源】
- 【拡散抑制】
- 【緊急時対策所】
- 【特定重大事故等対処施設】

【特定重大事故等対処施設】

- 緊急時制御室等

【電源】

- 発電機車

【水素爆発】

- 水素再結合装置

【活断層】

- 真上に重要な安全機能を有する施設の設置を認めない
- 約12万~13万年前の活動性が明確に判断できない場合は、40万年前まで遡って評価

玄海、川内原子力発電所ともに、敷地内に活断層は無い。

【火災】

- 火災により安全性を損なわないよう火災発生防止、影響の軽減等の防護対策を考慮

【溢水】

- 安全施設は、溢水(配管やタンクが破損し水や蒸気が漏れ出すこと)により、安全機能が損なわれないこと

【基準津波】

- 施設に最も大きな影響を与える津波を基準津波として策定

原子炉建屋は十分な発電所の敷地高さにある

	想定津波高さ	敷地高さ
玄海	海拔3m程度	約11.0m
川内	海拔4m程度	約13.0m

信頼性をさらに向上させるバックアップ施設は施行後5年後まで猶予